

# 一般介護予防事業

65歳以上の人ならだれでも利用でき、地域の人とのつながりを通じて介護予防や自立支援の取り組みを支援します。

## ■介護予防把握事業

閉じこもりなど何らかの支援が必要な人を把握し、介護予防活動への参加につなげます。

## ■介護予防普及啓発事業

介護予防に関するパンフレット配布や講座・講演会を開催し、介護予防活動の重要性を周知するため、老人クラブや小地域ネットワーク、その他の団体に働きかけます。



## ■地域介護予防活動支援事業

住民主体で行う介護予防活動の支援などを行います。

・一緒に活動してくれる方を募集します。秋頃にお知らせしますので、多くの方の参加をお願いします。

## ■地域リハビリテーション活動支援事業

介護予防の取り組みを強化するため、地域で行う介護予防活動にリハビリテーション専門職などが参加します。



疑問や心配なことがありましたら、まずはご相談ください。

お問い合わせ 地域福祉センター (☎52-3333)

# 置戸町文化連盟結成50周年記念講演会

## 劇作家 平田 オリザ氏「文化が地域の力をつくる」



置戸町文化連盟（田村昌文会長）の結成50周年記念講演会が3月11日、中央公民館で開かれ、町内外から約150人が参加しました。この日は、全国各地で地域の文化に付加価値をつけるまちづくりを提唱している、劇作家の平田オリザ氏が講演し、「金融経済と消費社会が全国に広がり便利になったが、利便性の追求により伝統芸能の継承を失ってきている。地方ほど無駄を許容できなくなってきた。美術館やコンサートホール、アーティストなどが都市に集中し、芸術や文化の格差が広がっている。地方にも文化資源はある。その資源を子供たちに蓄積する教育ができるか。文化施策と教育政策を一体化して町の重要な政策としていくことが人材の育成に重要である。そして、住民がその地域にある芸術や文化の価値を見だし、付加価値を生み出していく力が求められる。ソフトの地産地消が大事である」と呼び掛けました。